

平成29年8月28日

東松島市議会議長

様

(会派名) 市民クラブ

代表者氏名 佐藤富夫 

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要望・陳情活動費、会議費

2 活動名称: ○東松島中学校通学路の安全対策の為の国友省との意見交換会

○街中の活性化と文化行政について ○宮城の子とアラスカ  
3 実施期日: H29. 8.9 ~ 8.10日(2日間) まるごと日本を  
視察

4 活動成果:

別紙参照

5 添付書類:

立川市(カーレ・パート)資料



1 8月9日水曜日・午後1時30分から

国土交通省・道路局（国道防災課）

課長補佐 西野 毅様

計画調整課係長 清橋 秀聡様

同席の上、鳴瀬未来中学校の通学路における、国道45号線鳴瀬大橋の安全対策についての意見交換を、地元選出の国会議員でもあります勝沼衆議院議員の計らいで衆議院会館の勝沼事務所にて1時間に渡りまして、現状報告と地域からの通学路に対するご意見等を十分に話し合うことができました。これまでも防風対策として1億からの予算を投入していただき、安全対策も行って頂いた事に御礼申し上げながら、河川にかかります歩道の拡幅工事等の取り組みについても、有意義に意見交換ができました。また、市長も前日には国土交通省仙台事務所にも要望に出向いており課長補佐の西野様より報告を受けまして、東松島市一丸となりました取り組みも評価頂きました。我々議員もこのような形で国の機関に出向き地域の声を今後出来る限り届けながら市民の負託に答えるべきと思料されました。

## 政務活動報告書

平成29年29年8月9日～8月10日

東松島市議会 市民クラブ

### 1、8月9日：於、「まるごとにつぼん」(浅草)

浅草は年間観光客が2,800万人を数える。その浅草の一角に「まるごとにつぼん」は位置する。

「まるごとにつぼん」プロジェクトには、47都道府県の名産品を紹介するコーナーがあり、いわば、そこは「ふるさと」が一堂に会する試みになっている。全国の隠れた名産品の数々を見て、「パッケージデザインの美しさ、工夫された”見せ方”」などが参考になった。

今回のプロジェクトでは、商品を集める商業集積に加えて地域貢献、震災復興といったミッションも含んでいる。

尚、女川が出店していた。

### 2、8月9日：於、「宮城ふるさとプラザ」(池袋)

「宮城ふるさとプラザ」は宮城県の特産品や観光情報を発信する宮城県のアンテナショップである。

店内で東松島市の特産品を探したところ、オイタミートの「スペアリブ」しか置いていなかった。プラザ側に商品を置いてもらうよう、もっと積極的な営業をすべきと考える。

また、2階の観光情報コーナーには東松島市のカタログがラックに並べられていたが、前面の他市町村のカタログに当市名が隠れていた。今後、カタログを作成する際は最上部に市名を記載する配慮が必要であると思う。

### 3、8月10日：於、「ファーレ立川アート」

「街中の活性化と文化行政」について

立川市のオフィスビル街に36ヶ国92人による109のパブリックアート作品が設置されていて、街とアートを一体化させたまちづくりが行われている。

上記研修に関する所見

- 1、市役所に地域文化課を設置、文化の視点を重視している
- 2、まちのイメージアップに活用
- 3、文化と観光の両面に貢献
- 4、市民の誇りとなっている

東松島市の街中には文化が欠如している。また、商店街を再活性化させるためにも立川市の取り組みを参考にすべきと思料する。

